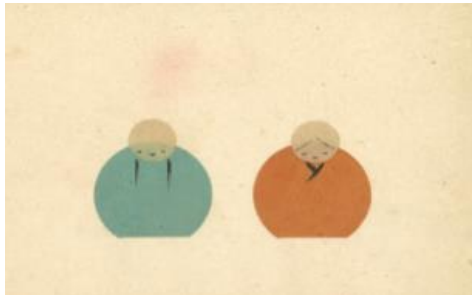


静岡福祉大学附属図書館 高橋五山(教育紙芝居開拓者)生誕130年企画 「みんなの紙芝居 ～紙芝居でつなぐ未来～」展

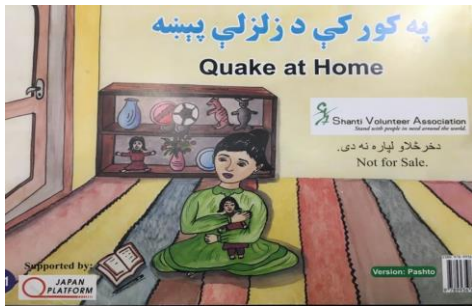
みなさんは、紙芝居にどんな思い出がありますか？
 子どものころ、絵に描かれた絵を見せながら 演じ手が語って進める
 お芝居に、夢中になったという方も多いのではないのでしょうか。
 日本で生まれ育った独自の文化である紙芝居の長い歴史の中、1961年に
 創設された年間出版紙芝居の最優秀賞「高橋五山賞」としてその名が
 知られる紙芝居作家・高橋五山は、紙芝居を幼児教育と結びつけようと
 した先駆者で、今年でちょうど生誕130年。
 過去から未来へ、五山の精神とともに受け継がれていく紙芝居を、3人の
 人物【高橋五山・小泉八雲・やべみつのり】を中心に紹介します。
 また、焼津ゆかりの文学者である小泉八雲原作紙芝居『いなむらの火』
 が伝える防災のこころや、絵本・紙芝居作家であるやべみつのりさんの
 監修のもと、子どもたちの未来を守るため、アジアのさまざまな国で
 防災意識の向上に取り組んでいる(公社)シャンティ国際ボランティア会
 (SVA)の活動についてもお伝えします。
 尚、やべみつのりさんは、お笑いコンビ『カラテカ』のメンバーで第22
 回手塚治虫文化賞短編賞を受賞した人気エッセイ漫画『大家さんと僕』
 (新潮社)の作者でもある矢部太郎さんのお父さんでもあります。その
 創作活動と子育てについての面白いエピソードを紹介します。



貼り紙画集／高橋五山作 1949(昭和24)年 本学所蔵



紙芝居『雪女』／原作:小泉八雲 構成:錦織明 絵:野澤尚子



【アフガニスタンの防災紙芝居】
 「Quake at home 家で地震が起きたら」／2016年出版
 やべみつのりさん監修

開催日程：平成30年9月28日(金)～平成31年1月25日(金)
 休館日：土日祝日
 ※12/24(月・祝)、1/14(月)は開館
 開催時間：9時～17時15分
 開催場所：静岡福祉大学附属図書館多目的室(管理棟2階)
 問合せ：静岡福祉大学附属図書館(静岡県焼津市本中根549-1)
 電話：054-623-7452(図書館直通)

企画展示内容：

- 高橋五山の紙芝居からのメッセージ
- ◆戦時中・戦後に開拓した「貼り紙画集」(1949(昭和24)年)初公開
- 小泉八雲が開拓した日本初の防災教材「いなむらの火」
- ◆錦織明さん(島根県出雲かんべの里館長)の紙芝居で語る小泉八雲の世界
- やべみつのりさんコーナー(防災紙芝居、貼り絵紙芝居他)
- 小澤進さんの折り紙紙芝居「はなしのはなし」
- 紙芝居文化推進協会主催手づくり紙芝居コンクール最優秀賞(加太こうじ賞受賞)
- 本学バリアフリー文庫研究会コーナー(福祉心理学科4年生 中谷稔さん)

共催：焼津市立図書館・焼津小泉八雲記念館

協力：高橋洋子さん(高橋五山親族・全中社代表)

やべみつのりさん(紙芝居・絵本作家)

(公社)シャンティ国際ボランティア会(SVA)／(特活)ラオスのこども

紙芝居文化推進協議会／(株)童心社／(株)雲母書房／(株)教育画劇



八雲原作紙芝居を本学にて上演中の
 錦織明さん(出雲かんべの里館長)

やべみつのりさん (本名：矢部光徳)

1942年 岡山県倉敷市に
 生れる。

絵本・紙芝居作家。

1977年より、造形教室

「ハラッパ」を主宰。

「大家さんと僕」の作者・

カラテカ矢部太郎さんのお父さん。

現在は、各地で、造形あそび、紙芝居づくりの
 ワークショップを開いている。五山が開拓した
 世代を問わず楽しめる紙芝居の想いを受け継い
 で、様々な紙芝居作りに取り組む。

また、八雲八雲原作の日本初の防災教材である
 「いなむらの火」の防災の心を広めようと、
 (公社)シャンティ国際ボランティア会(SVA)が
 現地の人が制作した「防災紙芝居」の監修を行
 う。国際協力のNGOの要請で、1995年より
 ラオス、アフガニスタン、カンボジア、ミャン
 マー(ビルマ)難民キャンプ、ミャンマーに研
 修の講師として訪問し、紙芝居を広めている。
 第34回五山賞奨励賞受賞。



平成17年6月13日
 撮影:高橋 清氏